



2018-2019年度

クラブ運営方針「クラブの新たな時代に向けて」

広島北ロータリークラブ週報



Vol. 1579
2019年4月4日号

設立 1969年4月24日
承認 1969年6月28日

■会長 三保 二郎
■幹事 塩本 能尚

事務局 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
例会 毎週木曜日 12:30 会場 ホテルグランヴィア広島

E-mail hnrcc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrcc.jp/

| | | |
|-------------|-----------------|--------|
| ■本日の例会 | 2019年4月4日(木) | 第2392回 |
| 国歌斉唱 | | |
| ロータリーソング | 「奉仕の理想」 | |
| 四つのテスト唱和 | 職業奉仕委員会 | |
| 来客紹介 | 親睦委員会 | |
| 誕生月お祝い | | |
| 入会式 | | |
| 会長時間 | | |
| 幹事報告 | | |
| 委員会・同好会報告 | | |
| ニコニコ箱の時間 | ニコニコ委員会 | |
| 卓話時間 | | |
| 『誕生月会員スピーチ』 | | |
| 『新会員自己紹介』 | 大賀 嘉章会員/吉田 拓也会員 | |

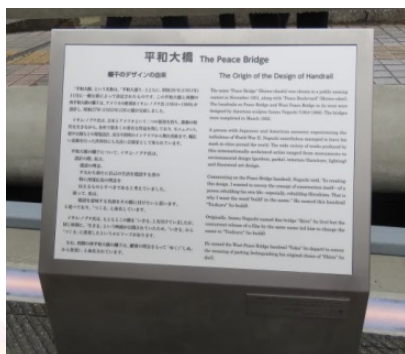
前回例会報告 2019年3月28日(木) 第2391回

| | |
|--------------------|---------------|
| ロータリーソング | 「われら広島北ロータリー」 |
| 来客紹介 | 親睦委員会 |
| 会長時間 | |
| 幹事報告 | |
| 委員会・同好会報告 | |
| ニコニコ箱の時間 | ニコニコ委員会 |
| 卓話時間 | |
| 『小児がんのこどもたち』 | |
| がんの子どもを守る会広島支部事務局長 | 西村 真一郎 氏 |

会長時間 会長 三保 二郎

東京は桜が満開だそうです。全国で咲いているさくらの殆どはソメイヨシノという種類ですが、桜の寿命が60年～70年と言う事から徐々に植え替えが始まっているそうです。その植え替え品種はソメイヨシノではなくジンダイアケボノとコマツオトメという種類だそうです。ソメイヨシノは種子がない為に接ぎ木で作っているそうで全てのソメイヨシノは同じ原木からのものなので同じDNAを持ったクローンだそうです。それに代わるジンダイアケボノとコマツオトメは種子から育つので耐性を持つため病気に強いそうです。週末の自衛隊で行います50周年記念事業の花火大会の時の桜は7～8部咲きと言われているので是非皆さんお誘いあわせの上お越しただければと思います。

さて、先週の21日には当クラブ50周年記念事業であります平和大通りでのペニバナトチノキの寄贈事業記念セレモニーを行いました、その後平和大橋欄干のイサム・ノグチの説明板寄贈式を行いました。約30名の会員に参加いただきありがとうございます



た。また、荒本会員と土井会員には大変お世話になるとともに坪内理事、樽本委員長、合田50周年副実行委員長お疲れ様でした。



幹事報告 幹事 塩本 能尚

《BOX配布物》
*4月例会予定表
*米山学友会冊子

委員会報告

公共イメージ常任委員会 松田常任委員長
*長らくお待たせしましたが、当クラブのホームページがリニューアルしました。会員専用ページにログイン頂き、ご自身の情報が合っているかをご確認ください。
創立50周年記録委員会 山内会員
*個人原稿提出のお願い
創立50周年記念事業委員会 坪内会員
*3月30日(土)陸上自衛隊海田市駐屯地で行われる「平成30年7月 豪雨災害復興祈念花火打ち上げ」に関するお知らせ
創立50周年実行委員会 合田副実行委員長
*例会終了後、実行委員会を開催します。

同好会報告

野球同好会 森会員
*3月15日(金)に第25回ガバナー杯RC親善野球大会前夜祭が開催され、16日(土)に呉二河球場で岩国中央RCと対戦しましたが、残念ながら3対2で敗れ初戦敗退となってしまいました。応援頂きました皆様ありがとうございました。
ゴルフ同好会 秋山会員
*3月例会成績発表
優勝 増田会員
ベストスコア 上河内会員



ニコニコ箱の時間

ニコニコ委員会

★自主申告

三保会員・久保(豊)会員・塩本会員・小林(直)会員・竹内会員・堤会員 西村真一郎様、ようこそ当クラブの例会に、お越しくださいました。

本日の卓話よろしくお願ひいたします。

坪内会員・榎本会員 西村先生、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。

坪内会員・榎本会員 3月21日、平和大橋高欄説明板設置および平和大通りへのペニバナトチノキ18本の植樹事業においては多くの会員にご参加頂き、誠にありがとうございました。今週土曜日の花火大会も引き続き宜しくお願いします。

石井会員 西村先生、今日は卓話楽しみにしております。

松田会員 ホームページリニューアルしたものが出来上がりました。スマホからも是非ご覧になって下さい。スマホ対応にもなっており大変見やすくなっています。例会を欠席するけれどニコニコしておきたい、忙しくて例会でニコニコをするのを忘れてしまいそうな時にこちらをご利用ください。ニコニコ委員ではない公共イメージの松田でした。

岡部会員 クラフテンホームページリニューアルおめでとうございます。長かったですね(笑)しかし、三保会長の写真は若すぎる(汗)

中川良浩会員 北RCホームページ、リニューアルおめでとうございます。メール出宝もとても使いやすくなっています。皆さん、一度お試しください。

野球同好会参加者一同 3/16、ガバナ杯の一回戦があり、岩国中央RCに惜しくも3対2で負けてしまいました。ランナーが一人出るとバタバタしてしまう我がチーム！技術よりも精神面を鍛えます。

増田会員★ 多打喜会3月度例会で記憶にないくらい久しぶりの優勝にビックリしています。ペナルティも含めて出宝します。

上河内会員◇ 先日の多打喜会で準優勝しました。準優勝とベストスコア2アンダーで3枚出宝します。

原田会員◇ ①1番目の孫娘が医師国家試験に合格し、4月より県病院に勤務します。②3番目の孫娘が九州大学歯学部合格しました。

山坂会員 妻の誕生日にキレイなお花をありがとうございました。妻は古稀になりました。これからも仲良く2人で過ごして行きます。

林谷会員 先日は家内の誕生日にお花を頂きありがとうございました。日頃家にいないことが多いのですが、突然のプレゼントに喜んでいました。ありがとうございました。

池久保会員◇ ①息子が広島工業大学電氣化を卒業しました。②4/1より名古屋の地元の電氣工事会社に入社します。

粟屋会員 ホワイトデーのお返しです。

菅会員 本日、所用にて早退します。

《職業ニコニコ》

岡田(清)会員 ホテルからのお知らせです。3月15日にプレス発表がありました様に、広島駅ビル南口の再開発により、2025年春に駅ビルの上に約400室のホテル「**ヴィスキオ**」がオープンいたします。宿泊主体型のホテルでホテルグランヴィア広島が運営を受託いたします。現ホテルグランヴィア広島の運営も行ってまいりますので、今後ともご利用よろしくお願ひいたします。

久保(豊)会員 4/15広島弁護士会主催で、**遺言の日記念シンポ**が開催されます。相続法改正点についても解説しますので、ご参加ください。広島弁護士会広報室長より

藤原会員 本日、50周年記念ジャケットとエンブレムを納品させていただきます。お申込み頂いております皆様は会場外でお渡し致しますので、お持ち帰りください。エンブレムだけのお申込みの方も本日お渡ししております。よろしくお願ひ致します。

卓話時間

『小児がんのこどもたち』

がんの子どもを守る会広島支部
事務局長 西村 真一郎 氏



ご紹介いただきました西村です。今日は「小児がんのこどもたち」ということでお話しするのですが、簡単に小児がんについてお話しして、今、問題となっている晩期合併症、それに対しての長期フォローアップ、少し私の出会った子どもたちのお話をして終わりたいと思います。

がんは勝手に増えて飛んでいくから人を殺しちゃうのですね。大人の胃がん・肺がんは、がん種といいますが、子どもの場合は骨肉腫とか神経芽腫というように、肉腫とか芽腫とかって大人とは全く違ったものです。子どもに特有ながんで比較的進行は速い。ただ、治りにくいかという最近はそのでもない。昔は、白血病は不治の病といわれていました。

小児がんの特徴は、ほぼ半分が白血病のような血液腫瘍です。これが大きな差になります。頻度としては1万人に1人。大人のがんは2人から3人に1人なるわけですから全く少ない。希少疾患といわれて、後はいろいろなものがあります。赤ちゃんから大きい子まで、例えば頭にできる脳腫瘍から体の隅々にできる横紋筋肉腫まで、これは筋肉のがんですが、さまざまなものがあります。

また年齢によっても、例えば産まれた赤ちゃんにできる肝芽腫というもの。白血病は実は2~3歳、一番かわいい盛りに多いのですね。小学生の頃になりますとホジキン病(正式名称:ホジキンリンパ腫)がありますし、ちょうど背が伸びる頃、骨が伸びるときには骨肉腫が起ってきます。年齢によって、がんの種類も変わってくるわけです。

～中略～

私が出会った子どもたちについてお話ししたいと思います。S君は急性リンパ性白血病で、小さいときに白血病の診断を受けました。その後、中枢神経系再発ですが、脳の周りに薬が行けないので、がん細胞が逃げていく、そこへ再発しちゃったのです。最初は放射線とかで抑えていたのですが、最終的に骨髄再発、いわゆる末期状態になって入院してきました。私が研修医1年目のときです。

その当時、上の先生たちは、もう無理だと思われていたのですが、研修医1年目ですから、なんとか治すという思いでしたし、その子自体が中学生だったので、ちょうど10歳ちょっと、主治医というよりは、かなり兄弟に近い感覚でした。治療が終わって、消灯が9時なのですが8時半から一緒にいて、そこでポーカーとかトランプをして過ごすのが日常でした。われわれの時代は365日24時間医者であれという時代ですから、ほとんど病棟で過ごしていたわけです。

ある日、彼が箱を持ってきて「先生これあげるよ」と。「なんや」って言ったらボールペンが入ってまして。ちょうど僕の誕生日だったのですね、「誕生日だろ」という。決して恵まれた家庭ではなかったのですが、おそらく売店に行って一番高いボールペンを買ってきてくれて、2色ボールペンですが、これは今も僕の宝物ですが、そういうものをプレゼントしてもらいました。

やはり、どうしても病気というのは進行します。最終的に末期状態から彼の心臓が止まって心臓マッサージ。まだ当時は心臓マッサージをする時代だったのですね。今はそんなことはしません、きちんと家族との時間をつくるということですが。本当に心臓、自分が手を止めると、この子はいなくなるのだというような感覚で、上の先生に、もういいからやめろと背中を押されるまで、ずっとしたのを覚えています。

その後、大学病院ですから病理解剖をします。医師としては、なるべ

当日計 48,000円 累計 1,653,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円



くきちんと取らなきゃいけない。ただ主治医としては正直断ってくれという思いだったのですが、意外なことにお母さんの答えは「お願いします」ということで、僕自身も比較的、当時は冷静に立ち会ったのを覚えています。

ただ、その子がなくなったということが、どこかで分からない。現実感がなかったのでしょうか。終わってロッカールームに帰ってきたときに、自分で分からないのですよ、声を出して泣くわけではないのだけれども、涙が止まらないのですね、ポロポロ。どんな感情なのか今でもよく分からないのですが。もうこんな思いはしたくないという思いがあって、じゃあ治せばいいのだというのが、多分その後の道を選んだ。この子が大ききかけじゃないかと思えます。

次はY君って大学生なのですが、彼も急性リンパ性白血病で、中学生で発症したのですが、すごく優しい子で、彼のベッドには小さい子がみんな集まってきて遊んでいて。いったん治療が終わったのですが、ある日、足が痛いということで外来を受診されました。

当時は僕が担当ではなかったのですが、上の先生が担当で、当時MRI という機械が入ったばかりで、それで検査すると、どうも骨に再発したのではないかということで。今まで抗がん剤を使った後の再発ですから、とてもじゃないけれど薬は効かないだろうと。じゃあ放射線だということで、50グレイといいますが、かなりの量を当てて、幸いに再発は治って。彼はテニス部に入って広島での大学生活を送って、その頃、僕がフォローアップの主治医になりました。

その大学時代の途中で足が痛い、腫れてきたというので診てみると、かなり腫脹している。整形外科と相談して診断してもらおうと骨肉腫でした。これは放射線を当てた、これが先ほどの二次がんですね。何年か経つと、かなりの頻度で起こってくる。彼に入院してもらって、やはり切断したほうがいだろうというお話をして、彼は比較的すつと「分かりました」と。部屋を出ていくときに看護師さんに「一人にしてほしい」ということで、「いいよ」って言って。後で看護師さんに聞くと、彼は一人でトイレに行って黙って泣いていたというのを後で聞きました。

ただ、非常に強い明るい子でして。その後、実は僕が突如、胆石になりまして、緊急入院して手術しないといけないということで同じ病棟に入院していたのです。僕の手術前日に彼が車椅子で入ってきて、彼も僕と同郷の大竹だったので大竹のまんじゅうを持ってきてくれて、「先生大変ですね、頑張ってください」と言われて。多少、全身麻酔だしという緊張はあったのですが、すごく恥ずかしくなって、あなたに比べれば私のなんて、胆石なんて病気でもなんでもなしというように思ったのを覚えています。その後、彼は義足ですが営業マンとして働いていました。残念なことに、その後また反対側の足も二次がんである骨肉腫を受けて、そちらは幸い人工関節にはなったのですが、まだ今も彼は病気と闘っているという状況です。

最後はM君って、会社員と書いてありますが、元々は小さいときに胚細胞腫瘍という非常に珍しい腫瘍、まだ当時はなかなか治らないかもしれないというところ。幸い、かなり強力な治療、アントラサイクリンを使った治療で、ほぼ治った。私のフォローアップ外来を受診していました。先ほどありましたようにアントラサイクリンって心臓が悪くなるので、ずっと心臓を診ていたのです。心臓の専門の先生に診てもらって。そんなに検査上、異常あるけれども制限はないよということで。彼は県外の国立大学に入学して大学院に進学して、その後、名古屋に就職するというので、あいさつに来てくれました。何かあったら連絡してねということがあって、僕は開業したわけですが。ある日突然、僕のクリニックに名古屋の病院から電話があって、こういう子を知っているかと。今、心不全で、もう命が危ないと。人工心臓を付けなきゃいけないが、これまでの資料を教えてくださいというのが昨年ありました。大学に確認して、すぐデータを送ってもらって。それも 20 年以上前に治療した結果なのですね。結局は心臓移植しかないのではないかとということで名古屋大学に転院しまして、そこで人工心臓をずっと付けたまま心臓移植を待つという生活でした。

どうなっているのかなとは思っていたのですが、また急にクリニックに、その子のお母さんから電話があって。正直やはり駄目だったのだから思っ

たら、なんとか奇跡的に人工心臓は外れたと。ただ、まだ予断できる状況じゃないし、治療は続けなきゃいけない。もちろんこれからがあるので、おそらく将来的には心臓移植が何か必要になるとは思いますが、少なくとも社会復帰はできそうだという電話をいただいて、去年の暮れに安堵したのを覚えています。

トータルケアという言葉があります。小児がんの治療の最終目標は、予後のQOLを維持した、成人としてちゃんと社会に送り出すことだと。これはフォローアップ外来を始められた石本(石本浩市)先生という、小児科の先輩の言葉なのですが。小児がんが治るためには、治療はもちろん必要で、情報も必要だが、結局いろいろな人の協力が必要で、最終的に心身共に健やかな大人になってもらうことが最終目標であろうと思います。

小児がんと生きるということですが、「がんの子ども」とよく言いますが、「がんの大人」と言わないように、子どもも最初から普通の子どものがんになっているだけであって、それまで日常生活を送っていた子ががんになっているわけで、最初から「がんの子ども」ではないわけです。それは小児がんを患って、そして小児がんと闘って、その経験とともに大人になっていく、そういう人たちだろうと思います。そんな人たちが、もし大人になって皆さま方の前で社会の門をたたいたときに、社会への先輩として、社会への第一歩として温かく迎え入れていただければ、小児がん治療に携わった者として、これ以上の感謝はないと思っております。以上です。ご清聴ありがとうございました。

■出席報告 出席委員会

2019年3月28日(木) 会員数 99名
出席 78名 欠席 21名
来賓 1名 ゲスト 2名
3月7日例会 修正後出席率 100%

■来客紹介 親睦委員会

西村 真一郎 様(卓話来賓)
赤井 友昭 様(入会予定者)
西開地 憲 様(入会予定者)

■次回例会 2019年4月11日(木) 12:30~

卓話 『一夫一妻制と男女問題』
山下 江 会員
食事 洋食

ガバナー杯親善野球大会

山坂監督が勇退され、山下正司新監督の下、初めての公式戦でしたが。岩国中央RCと対戦し、残念ながら3対2で敗れ初戦敗退となってしまいました。メンタル鍛え直して出直します！応援頂きました皆様ありがとうございました。



ガバナー杯は残り、決勝戦と親善試合があります。引き続き、ご協力をお願いいたします。